

LAWSON



ローソンは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



SDGs HANDBOOK 2023

ローソングループがつくる“幸せ”、 マチに広がっています

ローソンは、グループ理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」のもと、
企画・開発～調達～製造～物流～店舗に至るまで、
事業活動全体でSDGs(持続可能な開発目標)の推進に取り組んでいます。

企画・開発

お客さま、社会、環境に配慮した
商品づくりを

調達

生産者と連携し
安全・安心な原材料を

製造

こだわりの商品を
しっかりと管理

物流

地球温暖化や
働き方改革にも対応

店舗

3つの約束(圧倒的な美味しさ、
人への優しさ、地球への優しさ)を
実現する場として

グループ理念

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

グループスローガン

マチのほっとステーション

私たちは届けたい。
日々の暮らしに安心とぬくもりを。
思わず笑顔になる美味しさを。
ワクワク心が動く瞬間を。
社会をもっと豊かにする便利さを。

私たちは進んでいく。
新しいことに挑戦する情熱と、
人や未来を思いやる優しさで。
日本に、世界に、みんなと暮らすマチに。
ほっとするホットな暮らしをつくりつづけてい。

ローソングループは、力を合わせて
みんなの役に立つチャレンジを、どこまでも。



Contents(目次)

Top Message	P2-P3	圧倒的な美味しさ	P12-P15
マンガでわかる!ローソンSDGs物語	P4-P5	いつもの商品・サービスに あっと驚くような発見を	
重点課題と主な取り組み、 環境ビジョン	P6-P7	人への優しさ	P16-P21
Highlight 2022年度加盟店SDGs表彰 受賞店舗の取り組み	P8-P11	お客さまも、働いている人も うれしくなる場所を目指して	
		地球(マチ)への優しさ	P22-P27
		地球(マチ)と共生する 新時代のお店づくりを	
		グループ会社におけるSDGsの取り組み	P28-P29

※本冊子掲載のSDGs目標番号については、各ページに記載の取り
組みと関連性の高いものをピックアップしています。
※本冊子掲載の商品は販売を終了している場合があります。

Top Message

クルーから竹増社長に質問！



“マチのほっとステーション” ローソンとSDGsの関係とは？



SDGs 推進において
ローソンが注力していることは？

私は、ローソンのグループ理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」を実現することこそ、SDGsへの貢献につながると考えています。そのために、事業方針である「3つの約束(圧倒的な美味しさ、人への優しさ、地球(マチ)への優しさ)」をもとに6つの重点課題^{※1}を定めて、さまざまな取り組みを進めています。

例えば、お客さまに「圧倒的な美味しさ」をお届けするため、エリアカンパニー制を全国に拡大し、地

域に密着したお店づくりや地産地消などの取り組みをさらに進められるようにしました。「人への優しさ」では、お客さまにとっては利用しやすい、クルーの皆さんにとっては働きやすい店舗環境の整備に取り組んでいます。また、「地球(マチ)への優しさ」を実現する一環として、販売許容時間^{※2}が迫る商品の値引き販売やAI技術を活用した商品発注の適正化などさまざまな方法を通して食品ロスの削減に取り組んでいます。

※1 6つの重点課題の詳細は本冊子のP6～7をご参照ください

※2 販売許容時間とは、お客さまが安心して商品を召し上がれるよう、ローソンとして販売できる時間を定めたものです



代表取締役 社長 兼 CSO[※]
竹増 貞信



店舗にできるSDGs活動は どんなものがあるの？

例えば、トイレをきれいに維持することはまさに「人への優しさ」の表われです。特に高齢者や障がいのある方からは外出時のトイレに不安を抱えているという声が聞かれます。いつでも安心して利用できるトイレはお客様の満足度向上に結びつきます。私も2019年から全国の店舗を回り、トイレ掃除をする活動を続けていますが、トイレがきれいなお店は店内のほかの部分の掃除も行き届いていますし、品揃えもよくできています。日ごろ

からトイレをきれいにし続けることの重要性を実感しています。

また、「地球(マチ)への優しさ」の取り組みとして、店舗の電気使用量を削減するための「省エネ10か条」^{※3}があります。エアコンのフィルター清掃や季節に合わせた適切な温度設定は無駄な電気使用量の削減に有効なので、しっかり実施していただきたいですね。

※3 「省エネ10か条」の詳細は本冊子のP24をご参照ください



SDGsのために、 ローソンが描く未来像は？

新型コロナウイルス感染症による行動制限からアフターコロナになり、マチに人が戻ってきました。度重なる行動制限を経たからこそ、人と人とのつながりの大切さを多くの方がいっそう感じているのではないのでしょうか。ローソンは「変化対応業」として、デジタル技術を活用しながら新たな接客と多様な働き方の創出による“温かい未来”の実現を目指しています。2022年11月にオープンし

た「グリーンローソン」^{※4}では、アバターを導入することでリモートによる接客が可能となり、シニアの方や子育て中の方、障がいのある方でも制約なくいきいきと働けるようになります。

ローソンは2025年に創業50周年を迎えます。今後も私たちは人と人とのつながりを大切に、それぞれのマチに合わせて進化した「新・マチのほっとステーション」でお客さまをお迎えしましょう。

※4 「グリーンローソン」の詳細は本冊子のP27をご参照ください

マンガでわかる！ ローソンSDGs物語



オーナー
モットーは
「お客さまの笑顔第一！」。
ローソンのことを知り尽くし、
チャレンジ精神旺盛なオーナー。



幸助
新人クルー。もっとローソンに
詳しくなろうと奮闘中！
素直でやさしい性格で
みんなに慕われている。

あ、販売許容時間が迫ってきた！
まだ食べられるのに
捨てるのもったいないなあ…



そういう商品は
値引きして売り切りましょう！
少しでも食品ロスを
減らせるようにね！



そっか！
美味しいおにぎりが無駄にならなくて
ほっとしました！
値引きシールを
貼ってきますね！



…けど、値引きする
以外に何かできること
ないですかね…？



まずは発注精度のアップ。
次に「てまえどり」！
販売許容時間が迫っている商品から並べて、
お客さまにも手前から取っていただけるよう
お伝えしましょう！



それでも残ってしまったものは、
家畜用の飼料や肥料に
リサイクルできるわ



へえ～！ローソンっていろんな食品ロス削減の取り組みをしているんだ…
あれ？これって、SDGsと似てる気が…



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(=持続可能な開発目標)とは、世界を変える17の目標のこと。貧困、紛争、気候変動、感染症など、世界中にあるさまざまな課題を解決するために2015年の国連サミットで採択され、「地球上の誰一人として取り残さない」を誓っています。

いいところに気づいたわね！
実はSDGsの理念「誰一人取り残さない」と、
ローソンのグループ理念は似通っているところがあるの。
ローソンのグループ理念は知っているわよね？

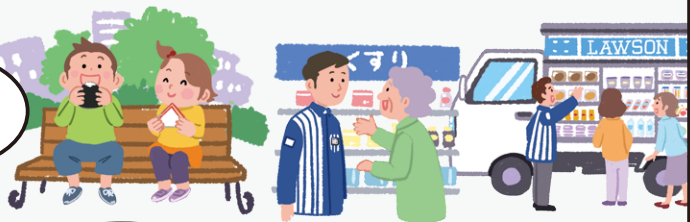


もちろん！
「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」
ですよね？

【グループ理念】
私たちは
“みんなと暮らすマチ”を
幸せにします。



正解！
この理念のもと、
ローソンでは安全・安心な
商品を提供したり、
地域のインフラとして
人々の暮らしを支えたり、



食品ロス削減に取り組んだりしているの。毎日のお店の業務の中でも、
実はSDGsへの貢献につながっていることがたくさんあるのよ！



私たちは
“みんなと暮らすマチ”を =
幸せにします。



なるほど！
SDGsを日常に取り入れるのって
難しそうだと思ってたけど、
ぼくの仕事がまさにつながってたんですね！
やる気がわいてきたぞ！



オーナー、ローソンがどんな取り組みをしているのか、
もっと教えてくださいよ！



いいわよ。
じゃあ詳しく見て
いきましょう！



重点課題と主な取り組み



ローソンでは、
事業方針「3つの約束」のもと、
こんな取り組みや
サービスに力を入れているのよ!

へえ～!
こんなにあるんだ!



事業方針



重点課題
(マテリアリティ)

主な取り組み・サービス※
(一例)

圧倒的な 美味しさ

P12-15



安全・安心と社会・環境に配慮した
圧倒的な高付加価値商品・
サービスの提供

- ・高付加価値のプライベートブランド(PB)商品の提供
- ・まちかど厨房の展開
- ・地産地消商品の企画・開発、国産食材の積極的な活用
- ・社会・環境に配慮した商品の開発・販売
- ・お客さまの声に応じた商品・サービスの開発
- ・お取引先との公平公正な取引の実施

人への 優しさ

P16-21



商品や店舗を通じて
すべての人の健康増進を支援

働きやすく、
働きがいのある環境の提供

子どもの成長と
女性・高齢者の活躍への支援

- ・10のテーマに基づいた健康に配慮した商品の開発
- ・お客さまに安心していただける商品の製造・販売の推進
- ・自治体との健康づくりの連携推進
- ・さまざまな人が利用しやすく働きやすい店舗環境の整備
- ・多様な人材がいきいきと活躍できる職場環境の整備
- ・子どもたちの未来のための募金の推進
- ・子どもたちの学習を支援する環境づくり
- ・食品等の支援を必要とする施設等への商品寄贈
- ・セーフティステーション(SS)活動の推進

地球(マチ) への優しさ

P22-27



社会インフラの提供による
地域社会との共生

脱炭素社会への持続可能な
環境保全活動

- ・移動販売、デリバリーサービスの拡大
- ・エリアの特性に合わせた取り組みによる地域の活性化
- ・自治体との包括協定等の締結・連携の推進
- ・災害時の国・自治体と連携した被災地支援
- ・店舗・オフィスの省エネ化の推進
- ・物流の効率化と環境対応トラックへの切り替え
- ・食品ロス削減・リデュース・リユース・リサイクルの推進
- ・容器包装及び販促資材等のプラ使用量の削減
- ・生物多様性に配慮した持続可能な資源の利用

※ 主な取り組み・サービスについては、すでに完了したものは除外し、新たなものを追加するなど、改廃しています

WE SUPPORT



●国連グローバル・コンパクトへの署名

ローソンは、国連グローバル・コンパクトに署名し、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」からなる4分野10原則を支持・実践することで、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

ローソンのグループ理念のもと、お客さま、マチ、地球のために何ができるかを真剣に考え、環境や社会における中長期課題の解決に積極的にチャレンジしてまいります。

2050年の目標の達成に向けてチャレンジ!

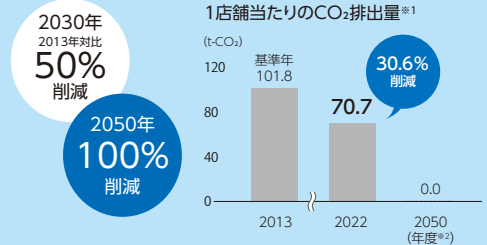
環境ビジョン

「Lawson Blue Challenge 2050!」

～“青い地球”を維持するために!～

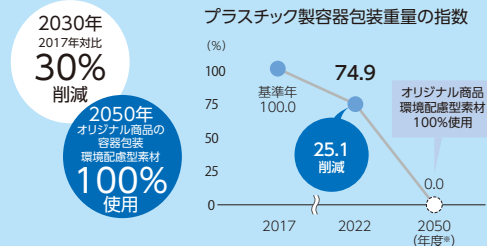
当社の創業50周年に当たる2025年及びSDGsの目標年である2030年をターゲットに、社会・環境面に関する目標(KPI)を策定し、達成に向けて取り組んでいます。さらに長期目標として環境ビジョン「Lawson Blue Challenge 2050!」を策定し、2050年の目標(KPI)の達成に向けてチャレンジしています。

CO₂排出量削減目標



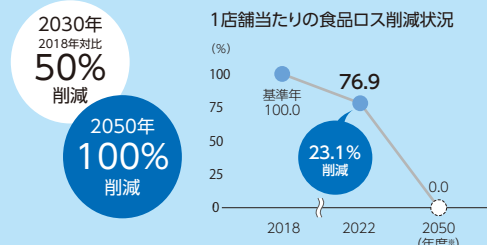
*1 CO₂排出量は「電気事業者別排出係数一覧(代替値)」で試算
*2 行政年度に合わせた4月1日から翌年3月31日で算定

容器包装プラスチック削減目標



※ 当社事業年度(3月から翌年2月)で算定

食品ロス削減目標



※ 当社事業年度(3月から翌年2月)で算定

Highlight

全国各地で「マチを幸せにする」ための取り組みを行っています！

グループ理念・事業方針「3つの約束」は、SDGsへの貢献であるとともにマチの幸せにつながります。全国各地のお店で取り組んでいる「マチを幸せにする活動」事例を募集し、2022年度も加盟店SDGs表彰を行いました。受賞した10店舗の取り組みをご紹介します。



直接現場で
コミュニケーションを取り
シニアの皆さんが抱えている不安を
解消しました

左:札幌西支店 札幌円山南1条店
オーナー 金野 正樹さん

右:札幌東支店 札幌美しが丘3条店
オーナー 金子 忠雄さん



8 働きがいも経済成長も 自治体のシニア向け仕事説明会に出展し採用

自治体主催のシニア向け仕事説明会に出展し、厨房作業の動画の視聴や自動釣銭機体験の場を提供しました。仕事を体感してもらうことで「自分にもできるかも」という安心感をもってもらうことができ、採用につながりました。

千葉北支店 柏南増尾一丁目店
オーナー 野田 直希さん



介護施設を 中心とした 移動販売を実施

週3～5回、介護施設を中心に約12ヵ所を訪問し、シニアの方に喜んでいただいています。今後の目標は販売場所をさらに広げて地域貢献するとともに、マチを幸せにすることです。



たくさんのお客さまからの
お礼の言葉がうれしいです

静岡西支店 菊川西方店
オーナー 戸塚 正さん



買い物困難地域での 移動販売を実施

山間地域にある店舗の閉店が続くなか、「買い物のお手伝いをしたい」という思いから、長年各団体に働きかけ、現在週に約40ヵ所を訪問しています。シニアのお客さまから「自分で選べる楽しさがある」と感謝されています。



京都南支店 ドラッグひかり蛸薬師高倉店
オーナー 尾池 美恵子さん



「子ども店長体験会」を 実施

毎月、小学生を中心に「子ども店長体験会」を開催して、品出しやからあげクンの調理体験の場を提供しています。体験した子どもたちからの感謝の言葉が従業員のモチベーションアップにつながっています。



左:店長 工藤 康弘さん 右:店長 山上 明穂さん

Highlight

取り組みはまだ始めたばかりですが、
今後も広げていければと思います



大阪北支店 都島高倉町一丁目店
オーナー 北田 紘也さん



子ども食堂へのフードドライブや中学生職業体験などに協力

従業員みんなでお客さまに声かけを行い、自宅にある食べきれない常温の食品をひとり親家庭など困っている方に寄贈しています。また毎年、中学校の職業体験を受け入れ、生徒の皆さんにお店で働くうえでの心構えやレジでの接客方法などを伝えています。

鳥取支店 気高鹿野町店
オーナー 林 憲二さん



中山間地域での移動販売とシニア見守り活動の実施



地域になくってはならない存在に
なりたいたいと考えています

自治体と連携した事業の一環で、9年継続して買い物が困難な地区を訪問し、お客さまの体調を確認しています。買い物に來られない方がいる場合は、自宅へ安否確認にうかがうなど真心こめた対応を心がけています。



お客さまのために
品揃えに気を配っています

徳島支店 東みよし町屋間店
オーナー 兵頭 浩さん



高齢者の施設などへの移動販売を実施

4年前から、移動販売車で社会福祉協議会や高齢者の施設5カ所を訪問しています。ときには翌週に必要な商品をお預りすることもあり、毎週笑顔とともに商品をお届けしています。



佐賀・久留米支店 ミズ木原店
オーナー 久原 貴朗さん



「相手の立場になって考える」
習慣が育まれてきています

店長 中田 和仁さん



シニア・障がい者に向けた移動販売を実施

月に約50回、介護施設・障がい者施設を定期的に訪問しています。買い物訓練の一環で、夏祭りやクリスマスイベントも開催し、利用者のご家族からは「自立訓練にもなる」と大変好評をいただいています。



熊本西支店 熊本京町二丁目店
オーナー 柳田 良誠さん



特別支援学校の職業体験及び放課後等デイサービス向けイベントの実施

年4回、袋詰め・商品補充などお店での仕事を体験してもらっています。またデイサービスを利用される皆さんには、ハロウィンや豆まきなどの季節の店内イベントに参加いただきました。



お客さまと交流できたことで従業員にも自信がつき、うれしいです





圧倒的な
美味しさ



いつもの商品・サービスに あっと驚くような発見を



ローソンは事業方針「3つの約束」の一つである「圧倒的な美味しさ」の実現を目指し、安全・安心と社会・環境に配慮した圧倒的な高付加価値商品とサービスを提供するため、さまざまな取り組みを行っています。時代とともに変化するお客さま、地域のニーズにマッチした店舗の実現を目指します。





いや～からあげクン、
ほんとよく売れますね!



からあげクンは1986年から販売している
ローソンの看板商品なのよ。
2023年には累計販売数
40億食を達成したのよ!!

40億!



からあげクンって、
小腹が空いたときに
つつい食べたくりますよね!

そうね。
いろんなフレーバーがあって、
これまでに340種類以上も展開していて飽きがこないのよね。
国産若鶏のむね肉を使用しているから
あっさりしててジューシーだし、おかずにはもちろん、
おやつやおつまみにもピッタリ!



あ～!確かにそうですね～



それに、低糖質でたんぱく質も摂れるし、
健康面にも配慮された商品なのよ

各地の希少なブランド米のおいしさをお届け

これまでに使用したブランド米

- 北海道産「ふっくらんこ」(2022年7月)
- 山形県産「雪若丸」(2022年9月)
- 石川県産「ひやくまん穀」(2022年11月)
- 富山県産「富富富」(2023年3月)
- 福井県産「いちほまれ」(2023年5月)
- 北海道産「ゆめびりか」(2023年7月)



富山県産米富富富使用塩にぎり

生産量が少なく地元での消費が中心のため、全国的な知名度はあまり高くない希少なブランド米のおいしさをより多くの方に味わっていただくために、2022年7月から日本各地の希少なブランド米を単一で使用したおにぎりを「日本おこめぐり」として発売しています。

VOICE

「富富富」は粒立ちのよさとあっさりとした口当たりが特長で、おにぎりにもお弁当にも合うお米です。安全・安心でおいしいお米を食べてほしいという想いから、2019年にJGAP認証[※]を取得し、持続可能な農業を目指しています。「富富富」を使用したおにぎりが全国のローソンに並んで多くのお客さまの目に触れたことは生産者としてほんとうにうれしく、改めてそのよさに気づくことができました。これからも富山県産米のおいしさの周知とともに日本のお米の消費に貢献していきたいと思えます。

※農業において持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み

株式会社アグリライズ南保
代表取締役 藤澤 ちひろさん



例えば、地元の食材を使うことで、地域の活性化に貢献しているんだ



さまざまな商品で マチの活性化や地産地消、地産外消に貢献

地元の食材を使った商品により、地産地消と地産外消を進めて地域との結びつきを深めています。



みそタルタルサバおにぎり
大分県立佐伯豊南高等学校の生徒さんと共同開発したおにぎりです。大分県産味噌を使用したみそタルタルソースとさばフライを中具に入れました。



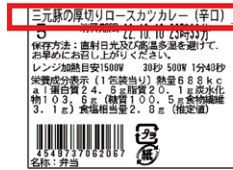
道産しゃけのクリーム生パスタ
北海道日本ハムファイターズとのコラボで誕生した、北海道産鮭の塩麹とクリームが相性抜群の彩り豊かなパスタです。

お客さまの声を反映し、商品やサービスを改善

マチのほっとステーションとして、お客さまとのつながりを大切にするため商品やサービスの改善にお客さまの声を反映しています。また、改善例を2022年1月からホームページに掲載しています。

例えば「辛い商品がわかりにくい」とのご意見を受け、味に特徴のある商品は商品名を見てわかるようルール化しました。そのほか火傷に注意が必要な商品についてはお客さまにわかりやすいようにパッケージに注意の文言を追加しました。

・辛口を記載するようルール化した例



・火傷の注意文言を追加した例



お客様の声から
うまれた取り組み

お客さまの声を反映した商品づくりや
原材料の調達も工夫しているよ



社会・環境にやさしい認証商品を使用

「MACHI café」に
レインフォレスト・アライアンス認証
農園産コーヒー豆を使用

店内淹れたてコーヒー「MACHI café」では、生産者・労働者の人権向上に取り組み、自然資源や環境に配慮した農法を採用したレインフォレスト・アライアンス認証農園産のコーヒー豆のみ※を使用しています。

森を大切にする
森林認証商品の取り扱い

オリジナル品のペーパーカップや飲料用の紙パックなどに、適切に管理された森林から生産された木材や、再生資源、その他管理された供給源の原材料を使用した「FSC® 認証製品」や「PEFC 認証製品」を採用しています。



詳しくはra.org/ja



※シングルオリジンシリーズ、カフェインレスシリーズは対象外

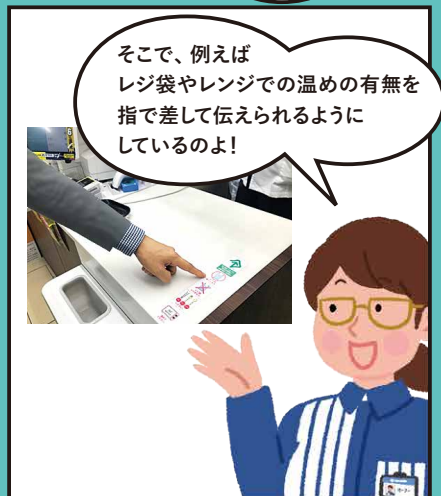


お客さまも、働いている人も うれしくなる場所を目指して



ローソンは事業方針「3つの約束」の一つである「人への優しさ」の実現を目指し、すべての人の健康増進と活躍を支援するとともに、さまざまな人が利用しやすく働きやすい店舗環境を提供するため、各種の取り組みを行っています。
多様な価値観に基づく挑戦を促進し、従業員の働きがいとマチの幸せを実現します。





例えば、
お客さまにも働いている人にも
やさしいお店づくりを
目指しているんだ



淵本さん

クルーさんのSDGsアクション

視覚障がいのある常連のお客さまが来店されたときは、腕を支えながら買い物カゴを持って一緒に売場を回り、商品名も読み上げるようにしています。



さまざまな方に安心して ご利用いただける店舗環境の整備

聴覚に障がいのある方が安心して買い物できるように「耳マーク」を表示した「指差しシート」をレジカウンターに貼付しています。ホームページとアプリには「コミュニケーションボード」の掲出をしています。

加えて、2023年5月の世界IBDデー（炎症性腸疾患を理解する日）には、トイレに悩まれる方がトイレを利用しやすいように武田薬品工業（株）と協業し、POSレジ画面などで啓発を行いました。



アーティストを応援

ローソンは障がいのあるアーティストの活躍を応援しています。2022年には、福祉施設「PICFA」のアーティストが描く「MACHI café」のコーヒークップのデザインや、トイレ啓発ステッカーを展開、アートトイレ（3店舗）も実施。2023年には「からあげクンパースデーパッケージ」デザインを描いていただきました。なお、PICFAのアートは、ポストカードとして常時マルチコピー機で販売しています。



「からあげクン」を通じて、たくさんの人に自分の絵を知ってもらえてほんとうにうれしいです。みんなが知る「からあげクン」をデザインできたことが自信と次の制作意欲につながっています。

からあげクンを担当したアーティストの一人
PICFA
藤瀬 翔子さん



TOPIC 東京都「心のバリアフリー」好事例企業に選定

聴覚障がい者に向けた取り組みや、アーティストを応援する取り組みなどを行ったことで、ローソンは令和4年度「東京都「心のバリアフリー」好事例企業」に選定されました。

働く人にもやさしい取り組みを実施

クルーの皆さんに「楽しい・お得・役立つ」情報をお届けするため、クルー向けアプリ「Lawson Channel(ろーちゃん)」を配信しています。ローソンに関する最新ニュースから、全国のローソンで働くクルー同士が積極的にコミュニケーションできる投稿コンテンツまで情報が充実しており、給与明細をチェックできる便利な機能も備えています。

また、外国籍のクルーのため、「ろーちゃん」に多言語(現在9か国語対応)のローソン用語集「Lawsonary」を掲載しました。店舗でよく使う用語を気軽に調べることができるようにし、従業員間の円滑なコミュニケーションを促進しています。



「Lawsonary」画面

最新の技術を活用して
新しい働き方も取り入れているよ



非制約・非接触のアバター活用で “温かい未来”を実現

ローソンは、さまざまな障がいや制約にとらわれることなく、誰もがいきいきと働くことができる“全員参加型社会”の実現を目指しています。

2022年11月、東京都内にオープンした未来型店舗「グリーンローソン」にアバター接客サービスを初めて導入し、現在約30人(2023年7月時点)がローソンが認定する「ローソンアバターオペレーター」として働いています。



VOICE

もともと声を使った仕事をしたいと思っており、声と接客経験を活かせるアバターオペレーターに応募しました。アバターオペレーターとして働くメリットは、インターネット環境さえあれば、時間や場所にとらわれず柔軟に働けることです。お客さまからの質問に対する回答がモニター越しとなるため、やりとりで困ったときはお店にいるクルーさんに助けてもらっています。

また、アバター接客の特徴に、複数の店舗間をシームレスに移動できることがあります。私は東京で働いていますが、ボタンひとつで大阪のお店へ移動できるので、多くのお客さまと関わるのができます。これからもっとアバターを活用したお仕事が定着することを願っています。



アバターオペレーター
中島 志乃さん

募金活動で子どもたちの未来を応援

ローソングループでは「子どもたちの未来のために」をコンセプトに社会貢献活動を行い、「ローソングループ“マチの幸せ”募金」では、現在2つの団体への寄付と活動の支援をしています。また、地震や豪雨災害への支援など緊急を要する募金受付も随時行っています。



募金や支援活動を通じて、社会に貢献しているんだ



● 2022年度募金総額
5億3,612万582円

● うち「ローソングループ“マチの幸せ”募金」
2億7,020万3,661円

「ローソングループ“マチの幸せ”募金」の寄付先

- ローソン緑の募金
(寄付先:公益社団法人 国土緑化推進機構)
- 夢を応援基金(ひとり親家庭支援奨学金制度)
(寄付先:一般財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会)



「活樹祭～親子森林教室」を開催

「ローソン緑の募金」を活用し、ひとり親家庭の母子を対象とした「活樹祭～親子森林教室」を開催しました。2022年4月に東京都町田市、11月に大阪府交野市の計2カ所で開催し、計13組28名の方々が参加。竹林整備や間伐体験、また「ナチュラル万華鏡づくり」を行いました。



「ローソン緑の募金」による支援実績

- 募金額(累計) **46.6億円**
- 手入れをした森の木の本数(累計) **約1,996万本**
- 植えた木のCO₂吸収量効果(2022年) **約5.4トン**



TOPIC 2022年度に実施した災害募金

多数の災害募金を実施し、被災された皆さまや復興支援のためにお届けしました。

- ・令和4年8月豪雨災害支援募金
- ・ウクライナ人道危機救援募金
- ・パキスタン豪雨災害支援募金
- ・令和4年台風15号災害支援募金
- ・ウクライナ緊急支援募金
- ・トルコ・シリア地震緊急支援募金
- ・アフガニスタン地震災害支援募金



全国各地で子どもたちの学びを支援

子どもたちが健やかに育つ環境をつくるお手伝いの一つとして、仙台市の「スチューデントシティ^{※1}」にローソンの体験店舗を設置し、小学生が社会的自立力を育む教育プログラムを提供しています。

また、中学生と高校生が授業を通じて企業のインターンとして課題解決に取り組む「企業インターンワーク^{※2}」に協力。2022年度は36校の中高生約1,500人の学びを支援しました。

加えて、2021年度には院内学級で学び児童・生徒さん計16名に対して、3地区で特別授業を行いました。その結果、文部科学省が実施する令和4年度「青少年の体験活動推進企業表彰」において、2年連続で「審査委員会奨励賞」を受賞しました。



スチューデントシティ



※1 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本(世界最大の経済教育団体であるジュニア・アチーブメントの日本本部)の登録商標

※2 株式会社トゥワイズ・リサーチ・インスティテュートが運営

フードバンクなどへの寄贈を通じて生活支援を実施

賞味期限まで日にちがあるものの店舗へへの納品期限を迎えてしまった商品については、フードバンクやこども宅食応援団を通じて、ひとり親家庭や養護施設などの支援を必要とする方々へ定期的に寄贈しています。

この取り組みを通じて、子どもの貧困や食品ロスなどの社会課題の解決に貢献しており、2022年度は約135万個(126トン)の食品・日用品を寄贈し、非常に喜んでいただきました。

子どもたちに
学びや生活の支援をしているよ



ピッキング・梱包作業



寄贈商品のお届け



寄贈の様子の動画



TOPIC 江戸川女子高等学校と「マイ容器持参企画」を実施

2023年2月に、東京都江戸川区内の3店舗で、マイ容器にて対象の揚げ物を購入できる企画を期間限定で実施しました。

これは2021年度の「企業インターンワーク」で「ローソン賞」を受賞した、江戸川女子高等学校(東京都江戸川区)の「TINO-N チーム」4名の皆さんと企画し、江戸川区のサポートのもと、実現したものです。



地球(マチ)への優しさ



地球(マチ)と共生する 新時代のお店づくりを



ローソンは事業方針「3つの約束」の一つである「地球(マチ)への優しさ」の実現を目指し、社会インフラの提供による地域社会との共生とともに、脱炭素社会の実現に向けた持続可能な環境保全活動に取り組んでいます。SDGsが目指す姿に貢献するため、CO₂排出量、食品ロス、容器包装・レジ袋のプラスチック使用量の削減などを進め、2025年、2030年及び2050年の目標(KPI)の達成を目指しています。





ああ、それは省エネを実験している店舗ね。
環境ビジョン「Lawson Blue Challenge 2050！」の取り組みの一環で、
省エネ機器などを導入して効果を検証しているのよ。
効果の高かった機器は今後ほかの店舗にも導入していきたいと思いますよ！

CO₂排出量削減目標

2030年 2013年対比 50% 削減	2050年 100% 削減
--------------------------------------	----------------------------

※ 環境ビジョンはP7で紹介しています



電気使用量を削減するため店舗でできるのは
「省エネ10か条」ね。
まずはそこからやってみましょう！

省エネ10か条

詳しくは次のページで！

「省エネ10か条」の取り組み

店舗全体の無駄な電気使用量を削減するため、「省エネ10か条」を定め、要冷機器・空調機器のフィルター清掃や、エアコンの設定温度の順守等に取り組んでいます。

- ① 週1回、要冷機器や空調機器のフィルター清掃
- ② エアコン設定温度 夏:27℃、冬:18℃、中間期: OFF
- ③ 商品搬入出時に、ウォークイン・業務用冷蔵冷凍庫の扉の開閉時間を削減
- ④ 要冷機器・空調機器の室外機周辺の整理整頓
- ⑤ 夏場に凍らせて販売する飲料商品などは冷蔵保管してから補充
- ⑥ ホット飲料は常温で保管している商品を補充
- ⑦ 業務用冷蔵冷凍庫内への商品の詰め込みすぎに注意
- ⑧ 不在時のバックルームや倉庫の照明とエアコンOFF
- ⑨ オープンケースのエアーカーテンを守った商品陳列
- ⑩ 業務用冷蔵冷凍庫の扉の開閉回数の抑制



「省エネ10か条」に沿った取り組みはもちろん、電気の削減につながる機器も導入しているんだ



クルーさんのSDGsアクション

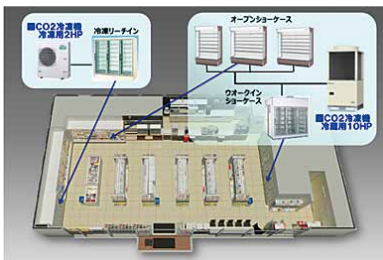
使っていない事務所の照明などはこまめに切っています。ほかのクルーにも「使用していない場所の電気は切ろう」などと声をかけ、省エネ10か条を徹底しています。

尾形さん



省エネ・創エネ機器の導入

2030年度「1店舗当たりのCO₂排出量2013年対比50%削減」の達成に向け、約5,300店舗にフロン類と比較して温室効果ガス排出量を大幅に減少できる「ノンフロン(CO₂冷媒)冷凍・冷蔵システム」を設置しています。また、約2,000店舗に太陽光発電設備を設置済みです(すべて2023年2月末時点)。



TOPIC エネルギーを「へらす」「つくる」店舗を展開

最新の省エネ・創エネ機器を導入した環境配慮モデル店舗をオープンし、効果のある機器は他の店舗へ導入を進めています。

2022年11月に神奈川県川崎市にオープンした店舗では、店内約8割の冷蔵・冷凍ショーケースへ扉を設置しました。加えて太陽光発電設備の設置、エネルギーマネジメントシステムの導入などにより、2013年度対比で電気使用量約40%削減を目標としています。



物流における取り組み

水素を燃料とした配送用トラックの導入

水素を燃料とした燃料電池小型トラックを、福島県本宮市、東京都大田区の配送センターにそれぞれ1台ずつ導入しました。燃料電池小型トラックによる店舗への商品配送エリアを順次拡大していきます。



サプライチェーン全体で
環境への負荷を
減らそうとしているんだね



配送時の効率アップで環境負荷を低減

2021年からAIを活用して配送ダイヤを自動作成することでダイヤの効率化を実現しています。さらに、2023年12月から順次、全店でチルド・定温商品^{*}の配送回数を1日3回から2回に切り替えることで、働き方改革への対応やCO₂排出量の削減につなげていきます。

^{*}チルド商品：5℃前後で販売する商品
定温商品：20℃前後で販売する商品

VOICE

商品の安定供給を維持するため、日々奮闘しています！

物流を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。ローソンは持続可能な商品配送の体制をつくるために、配送センターの拠点網、店舗への配送ルートやダイヤ、センターの倉庫内作業といった3つの面において最適化を進めています。特に店舗納品回数や納品時間の変化は大きな影響をもたらしますので、店舗の皆さんにご理解をいただきながらバランスよく進められるよう調整に努めています。

今後もさまざまな改革にチャレンジし、社会課題の解決とともに安定した商品供給の維持に貢献していきます。



株式会社ローソン
商品本部
ロジスティクス部
黒葛原 恵美さん

サプライチェーンCO₂排出量

原材料の調達から商品の製造、物流、販売、廃棄、リサイクルに至るまでのサプライチェーン各段階における環境影響を把握し、低減するための課題を検討して省エネ・省資源・廃棄物削減の取り組みを進めています。

^{*}ローソンのサプライチェーンすべてを網羅しているものではありません。2022年度実績は一般社団法人日本能率協会による第三者検証を受けています(第三者検証については、Scope2のローソンストア100の店舗電力を除く)。Scope2はScope3のカテゴリ14に属するFC加盟店の電力を合算しています。

2022年度サプライチェーンCO₂排出量^{*}

(千t-CO₂)

カテゴリ	内容	排出量	
Scope1 (直接排出)	社用車のガソリン	4.3	
Scope2 (間接排出)	本社・エリア・支店・店舗の電力	896.8	
Scope3 (その他の 間接排出)	1 仕入れた原材料(PB・NB製品、レジ袋など)	4,193.6	
	2 建物、器具備品等、情報システムハードウェア	70.3	
	3 電力の調達に伴うエネルギー関連	145.0	
	4 配送センターのエネルギー消費	136.0	
	5 店内廃棄物、閉店・改装時の産業廃棄物	21.9	
	6 ローソン本部社員の出張	0.8	
	7 ローソン本部社員の通勤	1.4	
	11 販売した製品の使用	56.5	
	12 容器・割り箸・レジ袋などの廃棄	40.6	
	上記合計		5,567.1

食品ロス削減に向けた取り組み

ローソンは、食品ロス削減を重要な課題ととらえ、2030年までに2018年対比50%削減を目指しています。関連する企業や団体とのパートナーシップなどにより、さまざまな取り組みを行っています。

● 実験的な取り組み

2022年12月に、販売許容時間の過ぎたデザート(一部)を、生鮮食品EC「クックパッドmart」の専用アプリ上で値引き販売する実証実験を行いました。

また、2023年1月には、販売許容時間の過ぎたからあげクンなどのフライドフーズを急速冷凍し、支援を必要とする子ども食堂などへ寄贈する実証実験を東京都内の店舗で開始しました。

● てまえどり

消費者庁、農林水産省、環境省の3省庁及び一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会と連携し「てまえどり」を推進しています。「てまえどり」とは、商品を購入後すぐに召し上がる予定のお客さまに、商品棚の“手前”にある商品から順番に“取り”、購入いただくことで、食品ロスの削減を目指す取り組みです。

● 売れ残り食品、食用油のリサイクル

店舗で発生した売れ残り食品は、リサイクル工場で飼料製品などに加工、出荷しています。また、フライヤーで使用した食用油も、石けんの原料や飼料などにリサイクルされていますが、最近ではバイオマス燃料として発電所や車などにも利用されています。



クックパッドmartで値引き販売の実証実験を実施



寄贈したからあげクンは子どもたちにも大好評



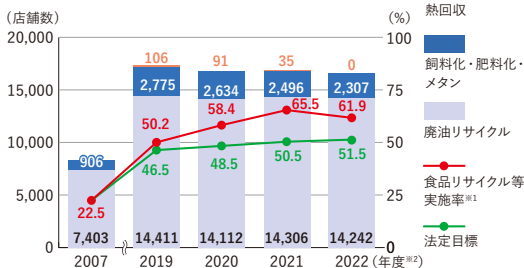
さまざまな手法を活用して
食品ロスの削減に取り組んでいるよ

2 売残り
ゼロに

12 食品ロス
削減責任



ローソングループ食品リサイクル等実施率及び実施店舗数の推移



※1 食品リサイクル等実施率は、(株)ローソン沖縄、(株)ローソン南九州、(株)ローソン高知を除いた数値です

※2 4月1日から翌年3月31日で算定しています

クルーさんのSDGsアクション

岩本さん

揚げたてのおいしいFF(揚げ物)をこまめに補充するとともに、新商品をお客さまにおすすめしています。お客さまの購買だけでなく、食品ロスの削減につながっています。



形状を工夫して プラスチック使用量を削減

プラスチック製の容器包装について、2030年に2017年対比30%削減を目指しています。

2022年4月のプラスチック資源循環促進法の施行に合わせ、持ち手部分に穴を開けるなどの工夫によりプラスチック使用量を削減したスプーンとフォークを導入しました。

ほかにも一部サラダの蓋をシールタイプに変更することで、蓋や補助テープ部分のプラスチック削減につなげています。あわせて、これまで紙製の商品名ラベル・原料ラベルを貼付していましたが、パッケージに直接印刷する技術を導入することでラベルが不要となりました。



お客さま・マチと一緒に創るサステナブルな “近未来型店舗”「グリーンローソン」

2022年11月に、食品ロス削減などの環境負荷軽減や、アバターによる制約のない働き方の実現など、20を超える施策を集約し、お客さま・マチと一緒に創るサステナブルな店舗「グリーンローソン」を東京都豊島区にオープンしました。

今後はグリーンローソンでの検証を経て、それぞれの施策を全国のローソンの最適な店に導入していく予定です。



グリーンローソン(ローソン北大家一丁目店)

グリーンローソンの主な取り組み[※]

- ① **アバター接客**
リモート接客で働き方の多様性を推進
- ② **できたてモバイルオーダー**
作り置きせず注文を受けてから調理し食品ロス削減
- ③ **お弁当の冷凍販売**
消費期限の長い冷凍品に切り替え食品廃棄を削減
- ④ **扉付き冷蔵ショーケース**
冷気漏れを防ぎ大幅な省エネを実現
- ⑤ **レジ袋・カトラリーの廃止**
エコバッグやマイ箸をおすすめ、プラ削減に貢献
- ⑥ **再生プラスチック使用の看板や買い物かご**

[※]グリーンローソンは実証実験店舗のため、取り組み内容が変更になる場合があります

未来に向けて、
サステナブルなお店をつくらせているんだ



ローソングループ各社で SDGsに 取り組んでいます

ローソングループ一丸となり、
「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」
というグループ理念のもと、
社会やマチのためになるチャレンジを続けています。



羅森中国

**省エネ型
プレハブ店舗の拡大**

2022年11月に天津市の天津西駅の構内に新店がオープンしました。高機能な断熱材を使用することで電気使用量を抑制しており、閉店後の資材の再利用も可能です。今後さまざまな立地へ設置できるプレハブ店舗を拡大していく予定です。





Lawson Philippines

**ステンレスカトラリーの
提供開始**

日本よりもイートインコーナーの利用が一般的なフィリピン。2021年から、お客さまにステンレス製のスプーンとフォークの提供を開始し、プラスチック使用量の削減につなげています。

LAWSON




ローソンエンタテインメント

リユース商材の 取り扱い拡大



中古レコードなどを取り扱う「HMV record shop 新宿ALTA」店内に「HMVトレカショップ」をオープン。

レコードだけでなく、中古トレカやトレカ周辺グッズなどの中古販売・買取も開始。今後、さらなるリユース商材の取り扱い拡大も視野に入れていきます。



ローソン銀行

視覚障がい者の方に 点字表示のガイドフォンを設置



目の不自由なお客さまにローソン銀行ATMを快適に利用していただけるよう、点字表記のあるガイドフォンを備えています（一部ATMを除く）。お客さまがガイドフォンを持ち上げると音声案内が始まり、音声案内にしたがって受話器の数字キーを押すとATMを操作できます。



ローソンストア 100

弁当容器の プラスチックを削減



「好きなものだけを堪能したい」というニーズに応じておかずを1種類に絞った超シンプル「だけ弁当」シリーズ。上蓋をなくシラップだけにするなど、プラスチックの削減に努めています。



成城石井

地域の子どもたち との交流



6歳から12歳までのお子さんを対象に、「レジのおしごと体験」を不定期で実施しています。スーパーマーケットのレジのお仕事体験を通じて、働くことの楽しさ、店舗スタッフやお客さまとのコミュニケーションを学んでいただいています。



ローソングループHPはこちらからご覧ください。

<https://www.lawson.co.jp/company/gr/>



表紙について

本冊子の表紙は福祉施設PICFA(ピクファ)に在籍する障がいのあるアーティストが描いたデザインを採用しています。



本冊子の
PDFファイルは
こちら



株式会社ローソン

SDGs推進室

〒141-8643

東京都品川区大崎一丁目11番2号

ゲートシティ大崎 イースタワー

<https://www.lawson.co.jp/>



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C020495



GREEN PRINTING JPPH
P-A10030
この印刷製品は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。

2023年8月発行 次回発行2024年8月予定

© 1975-2023 Lawson, Inc. All rights reserved.